

神戸子ども議会の概要

1. 経緯

神戸市次期基本計画の策定にあたって、将来を担う子どもたちからこれからの神戸づくりに対する提案や意見を述べてもらい、併せて、議会の役割や運営について子どもたちに興味・関心を持ってもらう機会とするため、平成21年7月30日、市会本会議場において開催した。

2. 概要

◇日時・場所

平成21年7月30日（木）午前10時開会 市会本会議場

◇主な出席者

市立中学校の代表生徒 166名（2名×83校）
市長、教育委員会関係者、企画調整局関係者
正副議長等

◇発表内容

「2025年のわたしたちのまち神戸」はこのようにあってほしい、というテーマで、生徒会として取り組んでいる活動をもとに、各区の代表9名の子ども議員から提案・発表があった。

（発表内容の概要は別表のとおり）

また、その内容を踏まえて生徒全員より「神戸子ども宣言」が提案され、可決した。

◇ 発表内容

発表者	テーマ	概要
兵庫区 須佐野中 西田さん	地域と共に 震災を風化させない	震災の記憶がほとんどない生徒が多い。震災を伝えていくために何ができるかを自分たちで考え、希望の灯の分灯などを行った。
灘区 鷹匠中 辻本さん	生徒会での話し合いから	だれもが住みやすい、あいさつが飛び交う神戸が理想。神戸総合型地域スポーツクラブを起点に大人と子どもが触れ合えるまちがつけられるのではないかな。
中央区 筒井台中 應矢さん	地域でのボランティア活動について	地域のボランティア活動の経験から、助け合いが大切であることを学んだ。若者が積極的に地域の行事に参加することで地域の絆を深めることができる。
東灘区 魚崎中 島岡さん	ハートプロジェクトの取り組みから	あいさつ運動や小学生とのスターウォッチングなど、地域貢献の活動を続けている。まず中学生から活動を広げ、地域が一体になるまちづくりに取り組みたい。
垂水区 塩屋中 伊藤さん	あいさつ運動 学校での取り組みから	あいさつや決まりを守ることは、簡単にできそうだが社会で最も大切なこと。小さな積み重ねで、人が信頼し合える魅力的な神戸をつくっていこう。
西区 西神中 田中さん	地域交流に環境活動を交えて（私が考える 2025 年の神戸）	地球温暖化を解決するのは私たち人間。みんなが 3R に意識をもち協力する人が増えるよう、中学校からアルミ缶回収などの取り組みを進めていく。
北区 鶴台中 手嶋さん	ボランティア活動 清掃活動を通じて	校門周辺や地域の清掃活動を続けている。効能は地域の一体感、達成感、まちが綺麗になる気持ちよさ。自分の体を動かすことから始めることが大切。
長田区 長田中 田中さん	環境への取り組み	環境学習に取り組んでいる。壁面緑化やソーラーパネル、地域の清掃やボランティアなど。節電やごみ減量など、まだまだ出来ることはたくさんある。
須磨区 高倉台中 越田さん	ボランティア活動 ネパールキャンペーンについて	10 年続いている活動で、募金で小学校建設も。「人を思う心」を育てることができる。地域に広めて、神戸を「人を思う心」でいっぱいのもちにしたい。

神戸子ども宣言

僕たちのまち神戸は、山と海に囲まれた、広大な自然の中で、豊かな文化を育んできた、とても美しいまちです。

この美しいまちで学んでいる僕たち中学生が、本日、市会本会議場に集まり、『「2025年の私たちのまち神戸」はこのようなまちであってほしい』というテーマで、未来の神戸に対する夢や願い、そして、それを実現するための生徒会での取り組みを発表できる機会を得ました。

僕たちは、神戸の歴史や文化を育んだ、先人の努力を受け継ぎ、人々が集い、共に助け合い、人と人、心と心のつながりが大切にされる、愛に満ちあふれたまちにしていきたいと思います。そのためには、未来の神戸を担う僕たちが、共生・友愛の精神を大きく広げ、多くの人々の心が一つにつながることで、理想への第一歩になると思います。僕たちは、それを実現できるよう、精一杯努力することを決意します。

僕たちが神戸市民の一員であるという自覚を持ち、今、未来の神戸のためにできること、やらなくてはいけないことを自ら見つけ、行動できるようになっていきます。そして未来への夢、希望を持ち、かけがいのない毎日を無駄にせず日々前進していくことをここに宣言します。